

坂井市公共基準点管理保全要綱

平成19年3月30日

告示第80号

(目的)

第1条 この告示は、測量法（昭和24年法律第188号）の規定に基づき坂井市が管理する測量基準点（以下「公共基準点」という。）の一般的取扱い及び管理保全に関して必要な事項を定め、その管理保全の万全を期することを目的とする。

(定義)

第2条 この告示において公共基準点とは、1級基準点、2級基準点及び3級基準点（相当精度の基準点を含む）であつてかつ永久標識を設置したものをいう。

(管理の主体)

第3条 公共基準点の管理保全の主管課は、建設部都市計画課とする。

(公共基準点の使用手続)

第4条 公共基準点を使用する者は、あらかじめ「公共基準点使用承認申請書」（様式第1号）により市長へ申請し、「公共基準点使用承認書」（様式第2号）の使用承認を受けるものとする。また、使用後には「公共基準点使用報告書」（様式第3号）により使用結果を報告するものとする。

2 公共基準点を使用する者は、「公共基準点使用承認書」を常時携行し、市職員又は土地所有者等の請求があつた場合は、速やかにこれを呈示しなければならない。

(工事施工の届出)

第5条 道路の掘削工事を施工する者（以下「工事施工者」という。）が、公共基準点の付近でその効用に支障をきたすおそれのある工事等を施工する場合は、あらかじめ「公共基準点付近での工事施工届出書」（様式第4号）を市長に提出し、市長の指示に基づく公共基準点の保全に必要な措置を講じなければならない。ただし、公共基準点の一時撤去・移転の承認を申請する場合は、「公共基準点付近での工事施工届出書」の提出を省略することができる。

2 前項のその効用に支障をきたすおそれのある工事等とは、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 掘削底面端から45度以上の線に公共基準点の構造物が入る掘削工事等
- (2) 車輛及び重機等の振動が公共基準点に影響を及ぼす杭打ち及び杭抜き工事のうち、公共基準点から杭、車輛及び重機等までの距離が5メートル以下となる行為
- (3) その他公共基準点の効用に支障をきたすと思われる工事等

3 第1項の届出書には、次に掲げる図書を添付しなければならない。

- (1) 位置図、断面図、平面図（掘削位置と公共基準点の位置関係を明示したもの）
- (2) 引照点図、又は市長の指示する測量資料
- (3) 写真（公共基準点、公共基準点周辺、全引照点を確認できるもの）

4 公共基準点付近での工事が竣工したときには、工事施工者は速やかに「公共基準点付近での工事竣工報告書」（様式第5号）を市長に提出し、検査を受けなければならない。

5 前項の報告書には、次に掲げる図書を添付しなければならない。

(1) 竣工写真（公共基準点、公共基準点周辺が確認できるもの）

(2) 公共基準点の異状の有無が確認できる測量資料（着工前・竣工後が対比できる引照点図、又は市長の指示に基づく公共基準点の保全に必要な点検測量等の成果）

6 公共基準点付近での工事により、公共基準点の効用に支障をきたした場合は、工事施工者は「公共基準点復旧承認申請書」（様式第6号）により市長に申請し、復旧の承認を受けなければならない（様式第7号）。

（一時撤去及び移転）

第6条 工事施工者（公共基準点の設置されている土地、建物の所有者又は管理者（以下「土地所有者等」という。）の行う工事を除く）が、公共基準点を一時撤去又は移転する必要がある場合には、あらかじめ「公共基準点（一時撤去・移転）承認申請書」（様式第8号）により市長に申請し、その承認を受けなければならない（様式第9号）。

2 前項の申請書には、次に掲げる図書を添付しなければならない。

(1) 位置図、平面図（掘削位置と公共基準点の位置関係を明示したもの）

(2) 写真（公共基準点、公共基準点周辺が確認できるもの）

(3) 再設置位置図（新旧位置の関係が確認できるもの）

3 土地所有者等の都合により公共基準点を一時撤去又は移転する必要がある場合は、土地所有者等は、「公共基準点（一時撤去・移転）請求書」（様式第10号）を市長に提出するものとする。

（機能の回復）

第7条 工事施工者が公共基準点を一時撤去、滅失、き損、移転等により、その効用に支障をきたした場合、又は土地所有者等による公共基準点の一時撤去、移転の請求があった場合は、原則として当該公共基準点を既設と同様の構造により再設置し、測量の成果を修正するものとする。

2 前項の場合において同一構造による設置が不可能な場合は、市長と協議のうえ変更することができる。

3 工事施工者以外の者が、故意又は過失により公共基準点を滅失又はき損した場合（以下「事故原因者」という。）は、前2項を適用する。

（機能回復の施工者）

第8条 公共基準点の測量標を設置する工事（以下「設置工事」という。）は、原則として原因者である工事施工者が行わなければならない。ただし、次の場合は建設部都市計画課で行う。

(1) 工事施工者による設置工事が困難な場合

(2) 土地所有者等による公共基準点の一時撤去、移転の請求があった場合

2 測量成果の修正（以下「測量作業」という。）に必要な手続きは、測量法第36条、同第37条第3項、同第40条その他関係法令に基づき建設部都市計画課で行う。

3 偏心法による移転により機能回復を図る場合は、工事施工者と市長との協議のうえ施工者を決定するものとする。

（設置工事）

第9条 工事施工者等は設置位置及び設置施工方法について、舗装復旧前に市長と協議しなければならない。

2 原則として測量標等は既設のものを再度使用するものとするが、使用不可能な場合は建設部都市計画課が支給（有償）するものとする。

3 工事施工者は設置工事の品質、出来形、工程、工事実施状況を明らかにする写真を撮影しなければならない。

4 設置工事が竣工したときには、工事施工者は速やかに「公共基準点設置工事竣工報告書」（様式第11号）を前項の写真とともに市長に提出し、検査を受けなければならない。

5 工事施工者は、前項の規定による検査に合格しないときは、直ちに補修して再検査を受けなければならない。

（費用の負担）

第10条 公共基準点の設置工事に要する費用（既設の公共基準点の取壊し費用を含む。以下「設置費用」という。）及び公共基準点の測量作業に要する費用（以下「測量費用」という。）の負担は別表を標準とする。

（その他）

第11条 この告示により難しい場合又はこの告示に定めのない事項についての取扱いは、その都度市長が定める。

附 則

この告示は、平成19年4月2日から施行する。

別表（第10条関係）

区 分		設置費用	測量費用 (再設法による場合)	測量費用 (偏心法による場合)
工事 施 工 者	建設部所管	△	×	×
	占有企業者 その他	△	○	□
事故原因者		△	○	—
土地所有者等		×	×	×

- 注1 ○印は左欄の該当者が復旧測量業務監督補助費を負担する。
- 2 □印は左欄の該当者が原則として復旧測量を施工することで費用負担する。
- 3 △印は左欄の該当者が原則として設置工事を施工することで費用負担する。
- 4 ×印は坂井市が負担する。
- 5 設置費用及び測量費用の額は別に定める。
- 6 設置費用及び測量費用の請求は、公共基準点付近での工事施工届出書及び公共基準点（一時撤去・移転）承認書に基づき公共基準点の効用に支障があるものについて請求するものとする。
- 7 設置費用及び測量費用は、納入通知書により、発行の日から起算して30日を経過した日までに納付しなければならない。

公共基準点使用承認申請書

年 月 日

坂井市長 殿

申請者 住所
氏名

公共基準点管理保全要綱第4条第1項の規定により坂井市公共基準点の使用について、下記のとおり申請します。

使用目的		
使用期間	年 月 日から	年 月 日まで(日間)
測量地域		
使用する 公共基準点	計 点	
測量方法		
測量計画機関	名 称	
	代 表 者	
	所 在 地	TEL
測量作業機関	名 称	
	担 当 者	
	所 在 地	TEL
備 考		

様式第2号（第4条関係）

公共基準点使用承認書

様

坂井市公共基準点の使用について下記のとおり承認します。

使用目的			
使用期間	年	月	日から 年 月 日まで(日間)
測量地域			
使用する 公共基準点	計 点		
測量方法			
測量 作業 機関	名 称		
	担 当 者		
	所 在 地	Tel	
承認条件			
1. 別紙公共基準点使用条件を遵守すること。			
2. 使用終了後は、報告書を提出すること。			
承認番号 号			
年 月 日			
坂井市長 印			
担当連絡先	坂井市 建設部 都市計画課 担当〇〇 Tel 0 7 7 6 (5 0) 3 0 5 0		

別紙

公共基準点使用条件

- 1 公共基準点の使用にあたっては、作業者は立入る施設の管理者にあらかじめ計画機関名、作業機関名、作業目的、連絡先などを連絡し、立ち入りの承諾を得ること。
- 2 施設内の立ち入りは、日曜祭日を除く午前9時から午後5時までを原則とする。ただし、管理者から指定された場合はそれに従うこと。
- 3 作業者は、使用時に使用承認書を常時携行すること。
- 4 使用にあたっては公共基準点の取り扱いに留意し保全に努めるとともに、周辺を汚さないよう努めること。
- 5 基準点本体及び立ち入り施設に損害を与えた場合は、申請者の費用で原形復旧すること。
- 6 作業者は、測量標及びその周辺の現況や、測量付近に工事の予定がある場合は速やかに基準点管理者に連絡すること。
- 7 作業者は、測量標の使用を完了したときは、基準点使用報告書として、次の書類を添付し基準点管理者に提出すること。
 - (1) 基準点現況報告書
 - (2) 精度管理表
 - (3) 成果表、網図の写しなど

公共基準点使用報告書

年 月 日

坂井市長 殿

報告者 住 所
氏 名
担当者

坂井市公共基準点の使用結果を下記のとおり報告します。

使用目的			
使用期間	年 月 日から	年 月 日まで(日間)
測量地域			
使用した 公共基準点			計 点
使用承認番号	承認番号 号		
測量 作業 機関	名 称		
	担 当 者		
	所 在 地	TEL	
使用結果 (精度)	No. ~ No.	相対精度 1 :	
	No. ~ No.	相対精度 1 :	
	No. ~ No.	相対精度 1 :	
	No. ~ No.	相対精度 1 :	
特記事項	(故障点、異状点の状況を記載)		

様式第4号（第5条関係）

公共基準点付近での工事施工届出書

年 月 日

坂井市長 殿

届出者 住 所
氏 名

公共基準点管理保全要綱第5条第1項の規定により下記のとおり届け出します。

工事件名		
工事場所	坂井市〇〇町〇〇 番地先	
工事期間	年 月 日から 年 月 日まで(日間)	
工事概要		
公共基準点番号		
占用企業者	名 称	
	代 表 者	
	所 在 地	TEL
工事請負者	名 称	
	担 当 者	
	所 在 地	TEL
添付図面	1.位置図 2.断面図 3.平面図 4.その他	

公共基準点付近での工事竣工報告書

年 月 日

坂井市長 殿

報告者 住 所
氏 名
担当者

年 月 日に届け出た公共基準点付近での工事が竣工しましたので、次のとおり報告します。

工事件名		
工事場所		坂井市〇〇町〇〇 番地先
工事期間		年 月 日から 年 月 日まで(日間)
公共基準点番号		
公共基準点 の状況		(1) 測量標のき損状態：
		(2) 構造物のき損状態：
		(3) その他：
工事請負者	名 称	
	担 当 者	
	所 在 地	Tel
添付図面		1.竣工写真 2.引照点図 3.測量資料 4.その他

公共基準点復旧承認申請書

年 月 日

坂井市長 殿

申請者 住所
氏名

工事により異状をきたした公共基準点の復旧について、公共基準点管理保全要綱第5条第6項の規定により承認を受けたいので、次のとおり申請します。

復旧理由		
復旧内容		
復旧場所	坂井市〇〇町〇〇 番地先	
復旧する 公共基準点		
復旧期間	年 月 日から 年 月 日まで(日間)	
復旧 工事 請負者	名 称	
	代 表 者	
	所 在 地	Tel
備 考		

公共基準点復旧承認書

様

年 月 日に申請のありました公共基準点の復旧について、次のとおり承認
します。

承認事項

復旧内容	
復旧場所	坂井市〇〇町〇〇 番地先
復旧する 公共基準点	
復旧完了期限	年 月 日とする

承認条件

- 1 測量標設置は、坂井市公共基準点管理保全要綱に定めた構造とします。
- 2 支給材が必要な場合は、建設部都市計画課へ連絡してください。
- 3 測量標設置工事完了後は、速やかに公共基準点設置工事竣工報告書（様式第11号）を提出し、坂井市の検査を受けてください。
- 4 検査に合格したときには、速やかに坂井市へ公共基準点を引き渡すこととします。
- 5 承認後、承認内容に変更が生じた場合は、その旨を速やかに届け出て建設部都市計画課と協議してください。

承認番号 号
年 月 日

坂井市長 印

担当連絡先	坂井市 建設部 都市計画課 担当〇〇 Tel 0776 (50) 3050
-------	--

公共基準点（一時撤去・移転）承認申請書

年 月 日

坂井市長 殿

申請者 住所
氏名

工事により支障となる公共基準点の（一時撤去・移転）について、公共基準点管理保全要綱第6条第1項の規定により、次のとおり承認申請します。

一時撤去・移転理由	
工事件名	
工事場所	坂井市〇〇町〇〇 番地先
一時撤去・移転する公共基準点	
移転する場合の移転候補地	坂井市〇〇町〇〇 番地先
工事期間	年 月 日から 年 月 日まで(日間)
一時撤去・移転期間	年 月 日から 年 月 日まで(日間)
工事請負者	名 称
	担 当 者
	所 在 地 TEL
添付図面	1.位置図 2.平面図 3.写真 4.その他
備 考	* 現況状況等を記載する

公共基準点（一時撤去・移転）承認書

承認番号 号
年 月 日

様

坂井市長 ㊟

年 月 日に申請のありました公共基準点の（一時撤去・移転）について、
次のとおり承認します。

承認事項

移転先	坂井市〇〇町〇〇 番地先
一時撤去・移転する 公共基準点	
完了期限	年 月 日とする

承認条件

- 1 再設置位置については、建設部都市計画課と協議する必要があるため、舗装復旧する前に必ず連絡してください。
- 2 測量標設置は、坂井市公共基準点管理保全要綱に定めた構造とします。
- 3 支給材が必要な場合は、建設部都市計画課へ連絡してください。
- 4 測量標設置工事完了後は、速やかに公共基準点設置工事竣工報告書（様式第11号）を提出し、坂井市の検査を受けてください。
- 5 検査に合格したときには、速やかに坂井市へ公共基準点を引き渡すこととします。
- 6 一時撤去の中止等、協議内容に変更が生じた場合は、速やかに建設部都市計画課に連絡してください。

担当連絡先	坂井市 建設部 都市計画課 担当〇〇 TEL 0776（50）3050
-------	--

様式第10号（第6条関係）

公共基準点（一時撤去・移転）請求書

年 月 日

坂井市長 殿

請求者 住所
氏名

公共基準点管理保全要綱第6条第4項の規定により坂井市公共基準点の（一時撤去・移転を次のとおり請求します。

一時撤去・移転理由	
請求場所	坂井市〇〇町〇〇 番地先
一時撤去・移転する 公共基準点	
請求期限	年 月 日まで
備考	

公共基準点設置工事竣工報告書

年 月 日

坂井市長 殿

報告者 住 所
名 所
担当者

年 月 日承認番号 号で承認を受けた公共基準点の（一時撤去・移転）について、公共基準点設置工事が竣工しましたので、次のとおり報告します。

工事件名			
工事場所	坂井市	町	番地先
設置工事竣工日	年 月 日		
設置公共基準点番号			
工事請負者	名 称		
	担 当 者		
	所 在 地	Tel	
添付図面	1.竣工写真 2.その他		